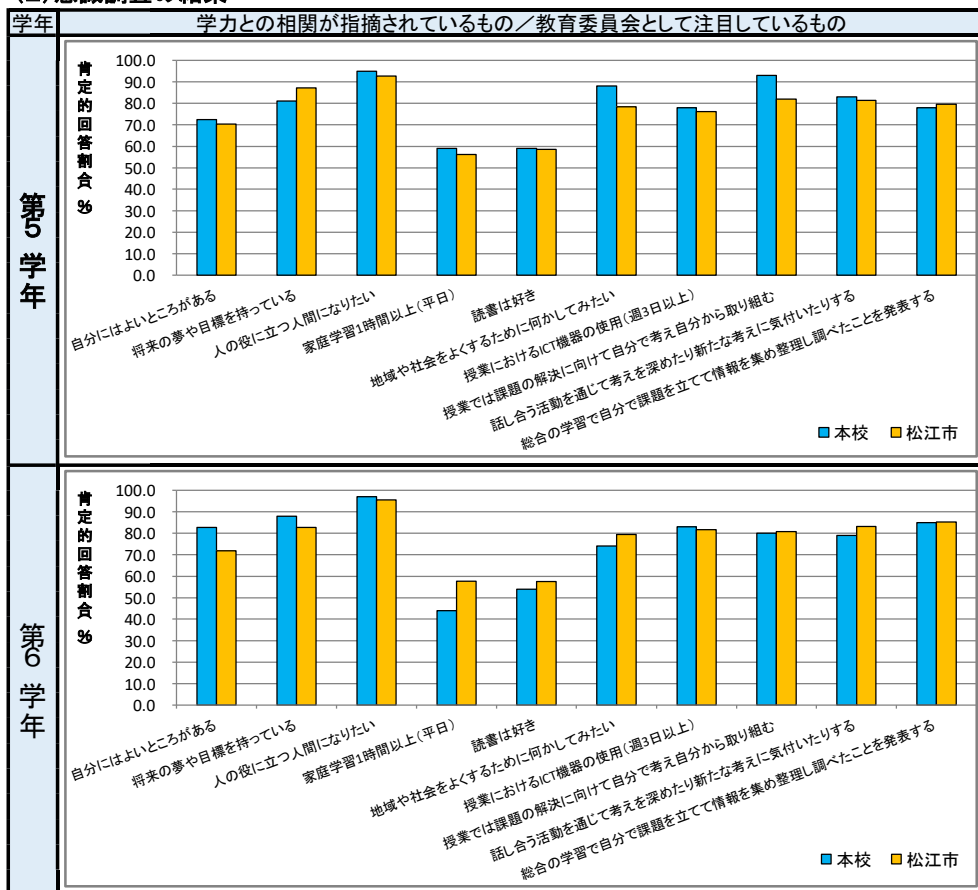


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(○)
第5学年	国語	成果	○筋道を立てて文章の構成を考えて書く活動を授業の中に意図的に取り入れ、継続していく。 ○思考・判断・表現の中の文章を書くことについては、約半数の児童が身につけている。 ○意見文や自分の考えを条件に沿って文章にまとめることができる児童が多い。
		課題	●目的や意図に沿って話を聞く力が弱い。 ●上位層と下位層の差が大きく、下位層の児童は問題文を最後まで読み進めることが難しかった。 ●言葉の力として敬語の理解が難しかった。
	算数	成果	○知識・技能については、レベル4, 5の児童が多く、基礎的な学力が身につけている。 ○数と計算等の基礎的な問題は理解している児童が多い。
		課題	●思考・判断・表現については、レベル2, 3の児童が多く、特に図形の性質などを使った問題に課題が見られた。 ●「単位量あたりの大きさ, 比例」については、上位層と下位層の差が非常に大きい。
第6学年	国語	成果	○言葉の力として、敬語の問題がよくできていた。 ○読解や文章を書くことが、上位層の児童においてはバランスよくできている。 ○図表等を用いて書き表すことができる児童は多い。
		課題	●知識・技能の約70%, 思考判断の約60%が、レベル1, 2の児童が占めている。 ●目的や意図に応じて書いたり、文章に基づいて自分の考えを書いたりすることに抵抗のある児童がかなり多く見られた。 ●言葉の学習における語彙や文法の理解が難しい。
	算数	成果	○知識・技能, 思考・判断・表現において、レベル3の児童が多い。 ○データの活用と図形(面積・体積)については、よく理解している。
		課題	●変化の関係, 分数のかけ算わり算, 比の値等の問題に課題が見られる。 ●基礎学力の定着に上位層と下位層の差が大きい。

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞  
 成果○：強み/伸ばしたい点 について  
 課題●：弱み/改善を要する点 について

【第5学年】  
 ○人の役に立ちたいと考えている児童が多い。  
 ●家庭学習の必要性について、考える場を設定するとともに、家庭への協力を学級通信等で伝えていく。

【第6学年】  
 ○人の役に立ちたいと考えている児童が多い。  
 ●授業において並行読書を取り入れたり、図書館に行く時間を設定する。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	60	名
第6学年	58	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示